

動物実験等の実施状況

(平成26年度)

研究所名	食品総合研究所
------	---------

1. 動物実験等の実施件数等						実施件数合計 45 件		
小哺乳類			大中哺乳類			鳥類		
動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数
マウス	36	1036	ウシ	0		ニワトリ	0	
ラット	9	245	ブタ	0		ウズラ	0	
ハムスター	0		ヤギ	0		カラス	0	
モルモット	0		ヒツジ	0				
ウサギ	0		イヌ	0				
			ネコ	0				
			サル	0				
			イノシシ	0				
			タヌキ	0				

2. 動物実験の主な内容								
<ul style="list-style-type: none"> ・ラットを用いた栄養試験で、食餌中のフラボノイド類の最適摂取量を調査 ・マウスを用いた栄養試験で、食餌中の茶とココアのポリフェノール、ルチンの最適摂取量を調査 ・食物精製抗原としてピーナツタンパク質をマウスを用いて免疫し、その抗体価を測定 ・大豆のタンパク質成分による脂質代謝の改善作用や調節制御作用をラットで評価 ・マウスを用い、アレルギーの発症と腸内細菌の関係解明 ・老化とともに毀損する免疫機能について、老齢マウスの免疫細胞を対象に、抗原への応答性と老化とともに発現するタンパク質、酸化ストレスなどについて若齢マウスと比較 ・リンゴプロシアニジンの抑制機序を解析するために、マウスのT細胞を採取し、in vitro試験でサイトカイン産生能などの免疫応答を検討 ・ケルセチンと機能性成分を摂取させたマウスの組織の遺伝子発現等を解析し、ケルセチンとの相乗効果、影響を検討 ・概日行動を変化させる評価系構築のため、高脂肪高シヨ糖食が概日リズムに与える影響を評価 ・マウスの加齢性難聴の進行度を老化の指標とし、種々の食品や機能性成分、食餌時刻の変化などが、老化速度に与える影響及びSirt3遺伝子に対する発現や活性に与える効果を検討した。 ・培養した精巣組織に概日リズムの存在を明らかにした。精巣組織での時計遺伝子発現を解析し、体内時計との関係を解明する。 ・栄養試験(マウスを用いた栄養試験で、ダイゼインやダイジン添加食を摂取させさらに味噌や漬け物由来の菌を投与して、イソフラボン代謝性、内臓脂肪への影響や腸内フローラの動態を解明) ・食品成分の呈味性試験(マウスを用い、食品香気成分の塩味増強効果。の解明と、甘味やうま味の組み合わせによる増強・抑制効果の大きさを数値化) ・食品成分の機能性評価(マウスを用い、卵巣除去または残したメスとオスの唾液タンパク質の差異を解析し、女性ホルモンと唾液の関係を解明) 								

備考

- 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。
- 2 「1. 動物実験等の実施件数等」の欄は、報告する年度における動物実験等の実施件数の総数、動物種(上記に表示のない動物種による動物実験等を実施している場合は、当該動物種名を新たに記載すること。)ごとの件数及び飼養数について記載
- 3 「2. 動物実験の主な内容」の欄は、報告する年度において実施した主要な動物実験の目的や実験方法等の内容について簡潔に記載すること。

動物実験等に関する自己点検及び評価報告書
(26年度)

研究所名: 食品総合研究所

1 所内要領

- a 規程に適合した所内要領が定められている。
- b 所内要領は定められているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

2 動物実験委員会

- a 規程に適合した動物実験委員会が設置されている。
- b 動物実験委員会は設置されているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

3 動物実験管理者

- a 規程に適合した動物実験管理者が置かれている。
- b 動物実験管理者は置かれているが、一部に改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

4 施設等の指定

- a 施設等は、動物実験委員会で審査され、規程に適合したものが適切に指定され、指定施設等においてのみ飼養管理及び動物実験が行われている。
- b 施設等の指定に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

5 施設等の維持管理

- a 施設等は適切に維持管理されている。
- b 施設等の維持管理に問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

6 動物実験計画の審査及び実施

- a 動物実験計画は、規程に従って適切に審査、実施されている。
- b 動物実験計画の審査、実施に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

7 動物実験の実施結果報告

- a 動物実験の実施結果は適切に研究所等の長へ報告され、取りまとめた実施状況は理事長へ報告されている。
- b 動物実験の実施結果の報告に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

8 実験動物の健康及び安全の保持

- a 飼養保管や輸送において、規程に定められた実験動物の健康・安全の保持の措置が適切に行われている。
- b 飼養保管や輸送において、実験動物の健康・安全の保持に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

9 生活環境の保全

- a 規程に従い、施設等及びその周辺の生活環境の保全に努めている。
- b 施設等及びその周辺の生活環境の保全に関し問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

10 人への危害・環境保全上の問題の防止

- a 規程に従い、人への危害や環境保全上の問題が適切に防止されている。
- b 人への危害や環境保全上の問題の防止に関し問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

11 安全管理に注意を要する動物実験(遺伝子組換え動物、感染症等に係る実験等)

- a 安全管理に注意を要する動物実験について、規程及び関連法令に適合した実施体制が確保され、安全に実験が行われている。
- b 安全管理に注意を要する動物実験について問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

- 安全管理に特に注意を要する動物実験は実施していない。

12 地震、火事等の緊急時の対応

- a 緊急事態に備えた措置に関する計画が定められ、緊急時の対応に問題はない。
- b 緊急事態に対する備え、対応に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

13 教育訓練

- a 規程に沿って、教育訓練が実施されている。
- b 教育訓練は実施されているが、問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

- 必要な教育訓練が実施されていない。

○実施の方針、予定等

- d 当該年度には、教育訓練が必要な者はいなかったため、実施せず。

- 備考 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。
2 該当する評価結果の□に✓印を記入すること。
3 評価結果が「b」又は「c」に該当した場合は、当該評価結果の下の欄に表示している事柄について、当該欄にその内容を記載すること。